

研 修 名	平成19年度「宮崎市放課後子ども教室推進事業」 指導者研修会		
主 催 者	宮崎市教育委員会生涯学習課		
所 在 地	〒880-0805 宮崎県宮崎市橘通東1-14-20		
連 絡 先	TEL 0985-21-1834	FAX	0985-25-0458
推 薦 支 援 センター等名			
研 修 分 類	1 学校と地域の連携を内容とする研修プログラム		
	2 その他（「放課後子どもプラン」の推進）		○
研 修 コー ス	1 基礎コース	○	2 スキルアップコース
	3 その他（）		

研修の実施に至る背景

宮崎市では、平成16年度より緊急3カ年計画の委託事業で実施された「地域子ども教室」に取り組み、地域社会の中で、子どもたちが安全で安心して健やかに育まれるような環境づくりの整備を推進してきた。また、本市の教育基本方針の中でも、地域住民、家庭、学校の連携協力により、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を目指しているところである。

近年、社会環境は激変し、いじめや不登校、インターネットや携帯電話の有害情報によるトラブルといった問題の多発や、少子化や核家族化で人間関係が希薄になったことによる子どもたちのコミュニケーション不足、室外あそびの減少による体力の低下、家庭の経済状況による学力の二極化など様々な問題が指摘されている。また、共働きをする一般家庭が増加し、放課後や週末の子どもたちの居場所や過ごし方に対する保護者の不安も高まっている状況がある。平成19年度よりスタートした「放課後子どもプラン」は、このような社会的な問題を解決するための具体的な方策として創設され、本市においても、「地域子ども教室」で築かれた地域住民主体の取組を継続するため、「放課後子ども教室推進事業」を実施することとなった。

本市では、これまでも「地域子ども教室」のコーディネーターや安全管理指導員を対象とした研修会を開催し、子どもたちが安心して過ごし、主体的に行動できる居場所づくりの推進を図ってきた。平成19年度からは、「地域子ども教室」を「放課後子ども教室」として、さらに活動内容を充実、発展させ、福祉部で実施している「児童クラブ」との連携等も考慮しながら取り組む必要性が出てきた。

研修の企画・立案

こうした状況下において、宮崎市では、「放課後子ども教室」の指導者研修会を企画するに当たり、研修会に「児童クラブ」の指導者が参加することで、両事業の指導者間の連携を図っていくことを第一の目的とした。総合的な放課後対策を推進していくためには、両事業の目的や活動内容を把握し、両事業に携わる指導者としての立場や活動の現状が異なっていることを認識することが必要であった。相互の情報交換を図り、その上で、どちらの指導者も子どもの健全な育成を支援する立場として、現在の社会的な問題を解決していくこととした。さらにお互いの共通理解の下で子どもたちに必要な取組を考えていくことを推進するための合同研修会として実施することとした。研修会の組み立て方としては、当該年度が、「放課後子どもプラン」実施の初年度であるため、①「放課後子ども教室」の意義や目的を理解していただくこと、②両事業の指導者が顔見知りになり連携が円滑に推進されることを期待し下記のようなプログラムとした。

- 1 ①子どもの健全育成と地域づくり（地域・家庭・学校）の関連について・・・講義
②子どもの遊ばせ方や安全管理、活動場所について・・・・・・・・意見交換
- 2 子どもの発達段階に応じた活動プログラムの企画について・・・・講義、実技
- 3 「放課後子ども教室」と「児童クラブ」の現状把握・・・・・・・・参観、研究協議
- 4 「放課後子ども教室」、「児童クラブ」活動内容発表・・・・・・・・事例研究

全4回の合同研修会すべてにおいて、講義や発表を一方的に聴くだけでなく、少人数で編成したグループに分かれ、参加者同士で意見交換をしたり、実践したりする機会を設けた。1については、地域教育について共通の認識を持っていただくため、宮崎市社会教育委員を務め、地域づくり協議会事務局としても、子どもの居場所づくりを支援している方を講師として依頼した。2については、子どもたちの心身の発達に効果的なレクリエーションやゲームなど活動プログラムの企画について、レクリエーション協会の指導者を講師に迎え学習をしてもらうとともに、参加者が子ども役になり実際に活動を体験しながら指導者間の交流を深めるということを目的とした。また、両事業の現状を視覚的に捉えていただくため、3で、「放課後子ども教室」と「児童クラブ」の活動参観を計画した。現場視察後の研修4で、両事業の指導者が、どのような目的を持って事業に携わっているかということや直面している悩みなどを発表する機会を設け、相互理解が深まるように工夫した。

研修の内容

①主催及び共催

主 催 宮崎市教育委員会

②対象者及び定員

対象者 各「放課後子ども教室」コーディネーター、安全管理員、「児童クラ

ブ」指導員
定員 50名程度

③研修プログラムの展開内容

第1回 平成19年7月26日(木) 会場：宮崎市中央公民館大研修室
 第2回 平成19年9月13日(木) 会場：宮崎東地区交流センター
 第3回 平成19年10月17日(水) 会場：国富小学校 下南方公民館
 第4回 平成20年2月5日(火) 会場：宮崎市中央公民館大研修室

7/26 (木)	19:00 <開会行事>①課長挨拶 ②講師紹介 19:10 (50分) <講義>「子どもの健全育成と地域づくり」 (講師) 広瀬小学校区地域づくり協議会事務局長 宮崎 幸生 20:00 <休憩> 20:10 (50分) <ワークショップ>「放課後子どもプラン」の推進について (協議テーマ) ①子どもの遊ばせ方について ②子どもの安全管理について ③活動場所について 21:00 <全体会> 21:30 閉会行事
9/13 (木)	19:30 <開会行事>①課長挨拶 ②講師紹介 19:40 (40分) <実践研修> 子どもの発達段階に応じた活動プログラムの企画 (講師) 宮崎市レクリエーション協会 会長 竹村 義政 指導員 竹井 ひろみ 20:20 <休憩> 20:30 (50分) <内容> ①お祭りワッショイ(導入部) ②5人の人と自己紹介 ③ジャンボジャンケン ④輪投げ ⑤新聞紙を利用したゲーム ⑥ジャンケンサッカーなど *活動の組立て方の講義と実践 *参加者の交流 21:20 <全体会> 21:30 閉会行事
10/17 (水)	15:30 (60分) <活動参観>①国富地区放課後子ども教室 ②国富小学校児童クラブ 16:30 <休憩> 16:40 (45分) <研究協議> (協議テーマ) 「子どもたちにとって安全で安心な居場所づくり はどのように推進すればよいか」 17:25 閉会行事

2 / 5 (火)	19:30	<開会行事> 課長挨拶
	19:40 (30分)	<実践発表> ①高岡っ子教室コーディネーター 井上浩助 ②宮崎西小児童クラブ指導員 土持洋子
	20:10	<休憩>
	20:20 (60分)	<研究協議> (協議テーマ) 「放課後子ども教室や児童クラブにおける 子どもの健全育成はどうすればよいか」
	21:20	閉会行事

④研修の実施に当たってのポイント・留意点

今年度の研修は、平成19年度よりスタートした「放課後子どもプラン」の取組について、事業に携わる「放課後子ども教室」、「児童クラブ」両事業の指導者を対象とし、本プランへの理解と連携についての協力依頼を研修の主目的とした。

本市の教育方針でもある「地域の子どもは地域で育てる」という地域教育の推進を図る「放課後子ども教室」と、児童福祉法に基づき昼間保護者のいない家庭の小学校低学年の児童に適切な遊びや生活の場を与え健全育成を図る「児童クラブ」では、その目的は異なる。しかし、事業の対象者が子どもであることや、活動を実施する時間帯がほぼ同じであることなど、両事業の相違点に分かりにくく、また、事業の所管課も異なるため連携が取りづらい状況にあり、情報の共有をする場もないことから、本研修会は、指導者としての知識や技術などの資質の向上を目指すだけでなく、相互理解を図るための貴重な場であることを意識しての研修会として位置づけることにした。研修内容については、どちらかの事業に偏ることがないように配慮し、実技指導においては、子どもたちが集団で楽しく遊ぶことのできる内容を学ぶことができるように計画した。

研修の成果と今後の取組

研修会を実施したことで、相互の指導者が、両事業の実情や課題、それぞれの指導者の置かれている立場や悩みなどを知る機会となった。このことは、本研修会を実施する際の最重要目的であったことから、所期の目的は達成できたといえる。しかし、平成19年度は「放課後子ども教室」を実施している箇所が11箇所と、「児童クラブ」に比べ少なく（児童クラブは45クラブ）、研修会への「児童クラブ」指導者への参加を、同一小学校区にある「児童クラブ」に限定したため、「児童クラブ」全体の指導者に対し「放課後子どもプラン」への理解を推進するには至らなかった。

研修会の中で、3回にわたり研究協議を行い、各指導者が、子どもの健全な育成を支援する者として現在の子どもに関する問題を真摯に受け止め、どのように事業を実施していけばよいのかについて意見交換をしたことは、今後、宮崎市の「放課後子どもプラン」における連携の方策を具現化する際に、現場に携わる支援者の貴重な意見として取り入れる

ことができる。

来年度は、本研修会で得ることができた成果を生かし、情報交換や協議の場を確保しながら、両事業が連携してできるような活動の企画、立案などについても実践的な内容を取り入れ、両事業の指導者の資質向上につながるような研修会を実施したいと考えている。

執筆者職・氏名：宮崎市教育委員会生涯学習課

青少年家庭教育係主査 河野万里子

コーディネーターからの一言コメント

「放課後子ども教室」と「児童クラブ」の連携に向けて4回の研修会を行い、相互の理解を図ることを主なねらいとしている。互いに理解が深まり、目的は達成し、双方の指導者の資質向上につながったとみえる。

今後、「放課後子どもプラン」における連携を図ることを考慮するなら、双方を調整し、つないでいくコーディネーターの存在が重要になるので、その養成研修が待たれる。

(中根 惇子)